

simc News Letter

Sendai International Music Competition

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ピアノ部門セミファイナル演奏レポート 第3日目

ピアノ部門セミファイナル
2019年5月31日(金)～6月2日(日)
日立システムズホール仙台
6月2日(日)セミファイナル第3日 14:00～

萩谷由喜子(音楽評論家)



2. ツァイ・ヤンルイ 中国

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

2000年中国生まれのツァイ・ヤンルイは最年少セミ・ファイナリスト。若さからくる?気負いが演奏ぶりにも音楽にもよく表れていた。オーケストラによる第1呈示部を待つ間にもピアノの上の布を手にして鍵盤を2～3度拭う。いよいよソロの番だ。3つの上昇句を勢いよく弾く。それぞれの最後の音に強いアクセントをつけるのは、気負いの現れというより、この人に備わった表現法であろう。その後も随所に熱が入り、決め音をくっきりと彫り付ける。音は非常に明瞭で立ち上がりやすい。たいへん力のこもった演奏を聴かせてくれたが、第1楽章で1箇所、タイミングをつかめなかった箇所があったことと、同じ音型を重ねるところではやや機械的になってしまう点が惜しまれた。高い技術水準を持った人なので、今後、表現の幅を広げ、柔らかみを加えていけば、さらに魅力ある演奏に到達することは十分に可能であろう。粒の揃った見事なパッセージに努力のあとが感じられた。



38. イリヤ・シュムクレル ロシア

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

ツァイ・ヤンルイが終わるとピアノが転換され、スタインウェイからカワイに変わった。弾き手のイリヤ・シュムクレルは1994年ロシア生まれ。沈黙考ののち、ふわりとした響きのよい和音から曲を開始した。予想よりもはるかに柔らかな音だ。余韻を十分に保たせたのち「叩くモチーフ」を静かに続ける。倍音が非常にゆたかに鳴っている。表現に抑制が効き、タッチにしなやかさがあり、どんな箇所でも粗くならない。自分がなにをどう表現したいのか、その思いをよく咀嚼した上でそれにふさわしい表現法を丁寧に選んで弾いている。非常に成熟感があり、なんだかロシアの巨匠ピアニストを聴いているような気分に誘われた。弱音も極めて美しく、強音はダイナミックに響く。カデンツァでは高次元のテクニックが存分に発揮されていた。オーケストラから頭一つ突き抜けた音もこの人ならではのもの。その立ち上がりのよい音でフィナーレも颯爽と弾き、カデンツァも見事に決めた。



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: https://simc.jp



18. キム・ジュンヒョン 韓国

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

ピアノがスタインウェイに戻され、1997年韓国生まれのキム・ジュンヒョンが登場。ピアノを奥底から鳴らすことのできる人で、表現しようとしていることが明快に伝わってくる。例えば、第1楽章の展開部では表情ゆたかに憂愁の色を表出し、カデンツァは力感たっぷり、パッセージにかかると粒の揃った音で聴き手を魅了する。低音はずしりと響かせ、高音はきらびやかに鳴らす。いくつもの要素がきちんとクリアされ、難点が見あたらない。もっとも心打たれたのは第2楽章だった。冒頭のオーケストラとのやり取りでは相手を宥めるようなおやかな声で威圧的な呼びかけに応え、後半、トリルの継続のうちに細かい半音階下降音型と8分音符の2度上行を交互に繰り返す部分では、強烈な幻想味が醸されていた。最後の力を振り絞ってアルペジオで細々と上行し、登り切れず2度下降して息耐える終幕ですべての音がよく聴こえ、フィナーレへの橋渡しとして大成功を収めていた。



11. 樋口 一朗 日本

ベートーヴェン / ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 op.58

樋口一朗は1996年生まれ。この人のステージで目立ったのは高い椅子だった。比較的小柄な彼は、いかにして指先に体重を乗せるか研究を重ね、この高さの椅子に行き着いたのだろう。この椅子によって上体の位置を高くして、上から両手をそっと落として冒頭和音を開始。続く「叩くモチーフ」も上からつつくようにして弾き、美しい響きを立ち昇らせた。そのあとも、この高い椅子奏法によってムラのないアーティキュレーション、粒の揃ったパッセージ、細やかなトリルなどが生み出されていた。第2楽章前半のオーケストラ強奏とソロが交互する部分も、音に芯があるので弱音でもオーケストラに負けない存在感が発揮された。曲のメリハリをつけるのもうまい。それも恣意的ではなく、それ以外にはありえないほど理に適っている。一つのフレーズを美しく閉じて、そこから次のフレーズへ自然につながる技にも長けているので、全体として構築力に優れた演奏という印象だった。

♪コンクールの演奏をYouTubeでお楽しみいただけます。

第7回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選からガラコンサートまでの全演奏のライブ配信を行います。また、演奏日の翌日から9月30日(月)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。
simc.jp/7th_competition/

♪最新情報はFacebook、twitterから!!

仙台国際音楽コンクール公式Facebook、twitterでも最新情報を配信しております。
Facebook: @SendaiInternationalMusicCompetition
twitter : @sendai_simc

第7回コンクール チケット情報

ー プレイガイド ー

仙台国際音楽コンクール
公式サイト、
日立システムズホール仙台、
仙台銀行ホール イズミティ21
ローソンチケット、
チケットぴあ、仙台三越

※詳細は公式サイト
<https://simc.jp>を
ご覧ください。

	ピアノ部門	ヴァイオリン部門	座席	料金
予選	5/25 (土) 販売終了 5/26 (日) 販売終了 5/27 (月) 販売終了	6/15 (土) 12:30～ 6/16 (日) 12:30～ 6/17 (月) 10:30～	全席自由 日時指定	1,000円
セミファイナル	5/31 (金) 販売終了 6/ 1 (土) 販売終了 6/ 2 (日) 販売終了	6/21 (金) 18:00～ 6/22 (土) 14:00～ 6/23 (日) 14:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
ファイナル	6/ 6 (木) 18:30～ 6/ 7 (金) 18:30～ 6/ 8 (土) 完売 ～	6/27 (木) 18:30～ 6/28 (金) 18:30～ 6/29 (土) 15:00～	全席指定	S席 3,000円 A席 2,000円
入賞者記念 ガラコンサート	6/ 9 (日) 完売 ～	6/30 (日) 14:00～	全席指定	S席 4,000円 A席 3,000円
審査委員による マスタークラス聴講券	6/ 3 (月) 13:00～ 6/ 4 (火) 13:00～	6/24 (月) 11:00～ 6/25 (火) 11:00～	全席自由 日時指定	一般 1,000円 学生 500円



■お問い合わせ先／公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>